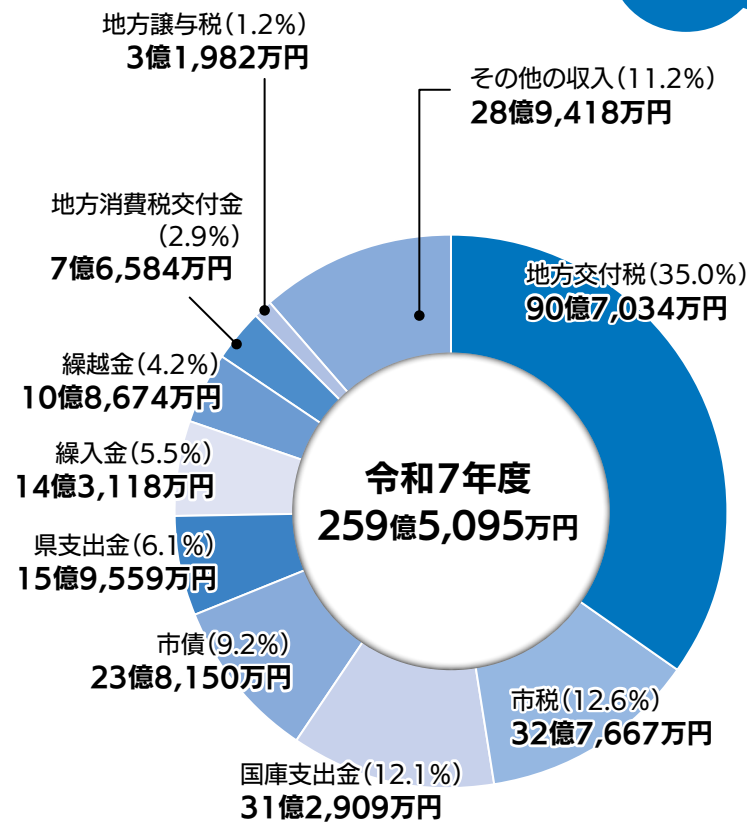


決算とは、市の1年間に入ってきたお金(歳入)と使ったお金(歳出)の最終的な結果です。
市の基本的な行政運営に伴う、一般会計の決算状況をお知らせします。

歳入

歳入の説明

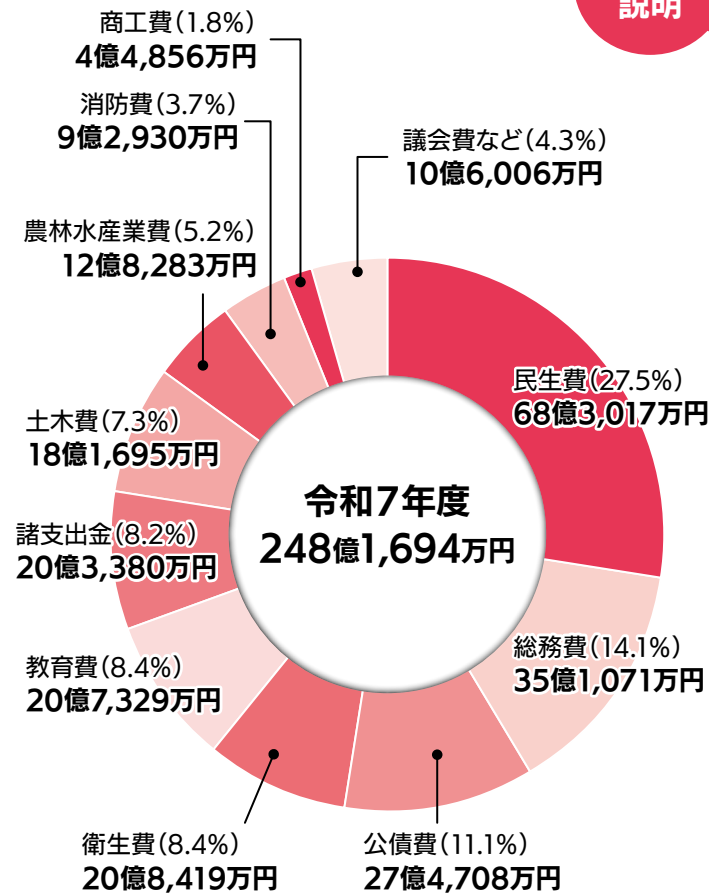


※単位未満を四捨五入しているため、
内訳の計と合計が一致していません。

- **地方交付税**
一定の住民サービスを維持するために国から交付されたお金
- **市税** 市民の皆さんが納めた税金
- **国庫支出金**
市の事業に対し、国から交付されたお金
- **市債** 国や金融機関からの借入金
- **県支出金**
市の事業に対し、県から交付されたお金
- **繰入金**
基金(積立金)の取り崩しによるお金
- **繰越金**
前年度から繰り越されたお金
- **地方消費税交付金**
地方消費税の配分で交付されたお金
- **地方譲与税**
自動車重量税などの国から交付されたお金
- **その他の収入**
ふるさと納税、基金(積立金)の運用益、使用料、手数料、各種交付金など

歳出

歳出の説明



- **民生費**
高齢者、障がい者、子育てなど福祉に関する費用
- **総務費**
庁舎管理や防災、徴税など、自治体の全般的な管理に関する費用
- **公債費** 借入金の返済に関する費用
- **衛生費** ごみ処理や保健医療などに関する費用
- **教育費**
幼稚園、学校、図書館、生涯学習、文化・スポーツ振興などに関する費用
- **諸支出金**
基金への積立金や土地などの購入に関する費用
- **土木費**
道路、河川、公営住宅の整備・管理などに関する費用
- **農林水産業費**
農林水産業の振興や農業委員会などに関する費用
- **消防費**
消防や救急業務、災害対策などに関する費用
- **商工費**
商工業や観光業の振興、イベント実施などに関する費用
- **議会費など**
市議会の運営や災害復旧、基金の積み立てなどに関する費用

令和7年度の歳入歳出差し引き

歳入 259億5,095万円 - **歳出** 248億1,694万円 = **11億3,401万円**

歳入から歳出を引いた残高は、令和8年度の繰越財源および基金への積立金となります。

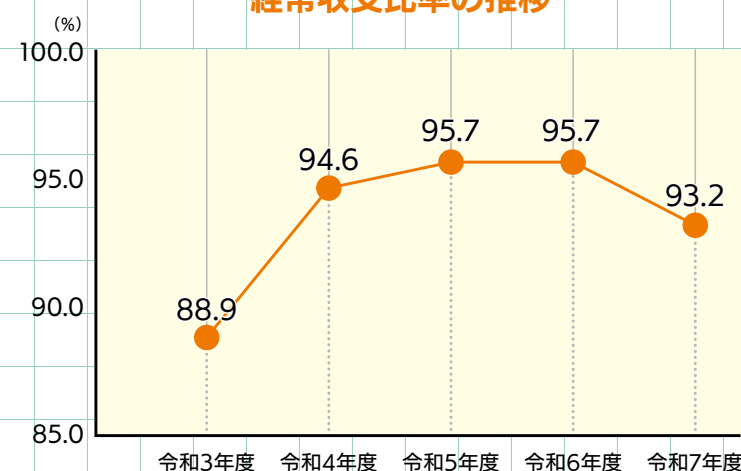
令和6年度の決算と比較して、歳入・歳出ともにそれぞれ約7億円の減額になりました。歳入では市債(借入金)の減額、歳出では令和7年に供用開始となった広域ごみ処理施設の建設に伴う衛生費や、同年運用開始となった大分県域消防指令業務共同運用事業における新通信システムの導入に伴う消防費が減少したことなどが大きな要因となりました。

経常収支比率の推移

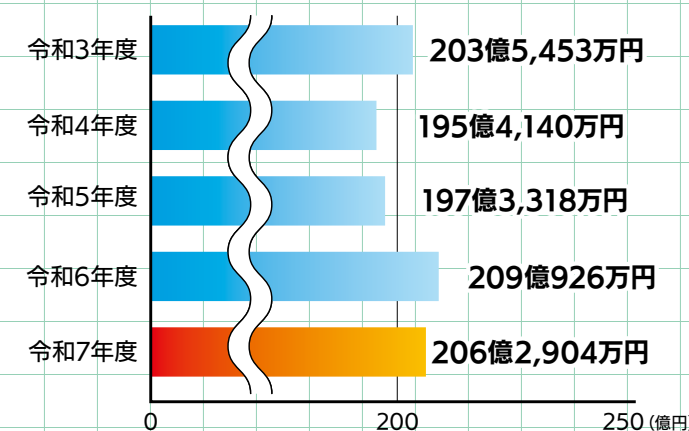
経常収支比率は、財政上の余裕をもって行政サービスが行えているかを示す指標で、数値が低いほど自由に使えるお金に余裕があることになります。

令和7年度は、令和6年度に実施した「広域ごみ処理施設建設事業」「国東中央公民館・アストホール等整備事業」などに対する公債費(借入金の返済)や、人件費の増加などがありましたが、それ以上に歳入における地方消費税交付金・地方交付税なども増額となり、前年度から**2.5ポイントの改善**となりました。

住民サービスの自由度を保つため、100%を超えない財政運営が求められています。



一般会計 市債(借入金)の残高の推移



一般会計 基金(積立金)残高の推移

